



スタッフの推し トリンケ一口来日キャンペーン(佐藤ver2)！！

2025年11月13日(木)～1月30日(金)出荷分迄

特に注目して欲しい
アイテムには
こちらのマークが！

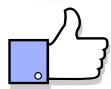
V40403

1. Vinage 2021 (希望小売価格 ¥3,800)

品種：メルロー、フレイザ、ネッビオーロ



酒軸が強く、本領発揮までに時間を要するものが多いトリンケ一口のワインにあって、早いうちから気軽に飲める軽さを求めて造られたヴィナージュ。様々な品種を単一でボトリングしているエツィオが唯一ブレンドして造る赤で、セパージュも毎年変更される。21年はダイレクトプレスしたメルロー&フレイザと別々に醸造したネッビオーロを合わせてボトリング。気候条件にも恵まれ、濃厚な果実味がありながらも軽さもあるという、絶妙なバランスのワインになりました。リリース当初に感じた抜栓直後の軽い還元のニュアンスも無くなり、開けたてからザクザク。抜栓後2週間経っても不安定な要素が皆無なので、グラスワインにも最適かと！

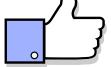


2. Rossopalme' 2016 (希望小売価格 ¥5,300)

V28119 品種：ブラケット



ブラケットの纖細なタンニンとスパイシーでフローラルな風味を引き出すため、マセレーション期間は20日間程度。気候条件の素晴らしい2016年ということもあり、完熟したブラケットの華やかな香りがグラスいっぱいに広がり、飲む前からガツツポーズ(イエス!!)。2016年は今年の3月にリリースしたのですが、実はうちに入ってから既に倉庫で4年以上寝かせておりまして、その甲斐もあってか、リリース当初から驚くほどのスケール感を持ったワインになっています。まだ飲んでいない方は是非一度飲んでみてください！びっくりして頂けるはずです！



3. Grigno 2020 (希望小売価格 ¥4,800)

V36915 品種：グリニヨリーノ



樹齢40年程のグリニヨリーノを約2週間のマセレーションの後、セメントタンクで12ヶ月の熟成。グリニヨリーノらしい透明感のある朱色に野イチゴのようなキュートな香り。開けたては澆刺としたアルコール感のあるフレッシュな印象のワインですが、1週間後には穏やかな表情を見せ、サクサク進んでしまう危険なワインに。



4. Grigno 2016 (希望小売価格 ¥5,000)

V22411 品種：グリニヨリーノ



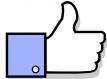
これまでで最も優れたヴィンテージのひとつであり、「2016年と並び立つような偉大なワインは今後そう簡単に現れないと思う」とエツィオに言わしめるグリニヨ2016。2020年とは対照的に、しっとりと大人の雰囲気を醸し出し、フルーティーでありながら、非常に纖細なタンニンが感じられます。抜栓直後、やや大人しいかも？と感じた場合は、是非数日置いてあげてください。偉大なのに偉ぶらず、みんなを受け止めてくれるような、そんなスケール感のワインです。

5. Nobius 2020 (希望小売価格 ¥5,200)

V40404 品種：ネッビオーロ



2000年に古樹のドルチェットに接ぎ木されたネッビオーロを11月の第1週まで待って収穫。2020年は若々しさの中にも伸びやかな酸と豊かな果実味を感じるバランスの取れた味わい。開けたてからバッチャリですが、少し日数が経った後の表情もまた素敵。1週間後、2週間後の味わいも◎です。



6. Nobius 2015 (希望小売価格 ¥5,800)

V31716 品種：ネッビオーロ



しっかり熟成した2015年は、香木のような、木のニュアンスを感じる香り。ネッビオーロの繊細なタンニンが熟成を経て丸みを帯びスムーズに。こちらも開けたてよりも日数が経ってからの表情が本当に素敵。是非ゆっくり時間をかけて飲んで欲しい。

7. Barolini 2019 (希望小売価格 ¥3,400)

V33607 品種：バルベーラ



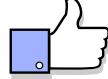
ヴィーニャ デル ノーチェと並んで最も重要な2区画とされる畠のひとつがバルスリーナ。1930年代にバルベーラが植えられた畠なのですが、寿命や病気などにより元々あった高樹齢の樹は少くなり、今は1982年頃に植えられたブドウが主となっています。この2019が2023年に到着した当初は還元のニュアンスが強く出ていたためリリースを遅らせていましたが、2年の時を経て良い感じになってきました！でもまだちょっとお転婆なところがありますので、こちらは抜栓後1~2日程度で飲み切ってもらった方が◎です。数年後には大化けする気がしますので、今のうちに多めに確保しておくことをお勧めします！

8. a-yuki! 2014 (希望小売価格 ¥4,200)

V20925 品種：バルベーラ



ご存じ『太田家の3兄妹シリーズ』。第3子ユーキの生まれ年2014年のヴィーニャ デル ノーチェを全量買い(5000リットルの大樽2樽分)することで価格をグッと抑えてのご紹介ができているワイン。太陽に恵まれず難しいヴィンテージだった2014年、バルベーラに関しては他の区画は諦めヴィーニャ デル ノーチェのブドウのみを収穫、醸造。ヴィーニャ デル ノーチェらしからぬ繊細な味わいのワインでしたが、10年以上の熟成を経て、際立っていた酸もこなれ感が出てソフトになり、すぐ飲んでも時間をかけて飲んでも、ただただ美味しいワインに成長しました。日持ちもバッチャリなので、グラスワインとしても安心して使っていただけます！



9. Rosso del Noce XVII(2017) (希望小売価格 ¥4,300)

V40402 品種：バルベーラ



ヴィーニャ デル ノーチェとしてボトリングできない分(DOCG申請時に申告した量より多くできた分)をボトリングしたのがロッソ デル ノーチェ。これまで4度リリースされたロッソ デル ノーチェ(I,II,III,IV)は複数ヴィンテージのブレンドでしたが、2017年は単一ヴィンテージでボトリングされました。酷暑の影響を色濃く反映し、「絶対にDOCG官能検査をパスしない」と考えたエツィオが、ヴィナイオータに全量オファーをしてくれ、この価格が実現。濃厚でアルコール度数も高い(15%)のですが、少し感じる炭酸と揮発酸が良い方向にバランスを取り、濃密なのにサクサク飲めてしまう危険なワインに。ゆっくり2週間かけて飲んでも最後までずっと美味しい楽しめました。熟成のポテンシャルも保証されていますので、こちらも是非纏め買いして10年後20年後の姿を楽しみにして欲しい！

10. Vigna del Noce Castagno 2012 (希望小売価格 ¥6,800)

V28121 品種：バルベーラ



言わずと知れたトリンケーロのトップキュヴェ。ヴィーニャ デル ノーチェは1929年に植えられた古樹のバルベーラが残るトリンケーロ最上の畠。「これは！」という年のワインのみに使用する栗の樽で5年間熟成させたのがこのVdN Castagno 2012。エツィオ曰く、「VdNの30年間のヴィジョンを究極的に表現している」というこのワインは、13年の時を経てしっとりと落ち着いた熟成感のある味わいでありながらも、硬さは無く親しみやすい存在。2012年からVdNの蔵出し価格がグッと上がったとはいえ、13年熟成したこの品質のワインがこの価格なら、お買い得とさえ感じてしまいます。



11. Runchet 2017 (希望小売価格 ¥4,700)

V28121 品種：フレイザ



樹齢40年を超えるフレイザを40日間のマセレーションの後スラヴォニア産オークの大樽で熟成。フレイザというブドウは、若いうちはタンニンも強く苦みを感じるようなワインになりがちですが、このルンケット2017はそんなイメージはどこへやら。チャーミングな香りと柔らかな質感、とてもバランスの取れたエレガントなワインに仕上がっています。フレイザに苦手意識のある方にも是非飲んで欲しい。



12. Runchet 2013 (希望小売価格 ¥4,900)

V22413 品種：フレイザ



2013年は逆に、フレイザの特徴をはっきりと表したヴィンテージでしたが、12年の熟成を経て強かったタンニンもほぐれ、ギシギシ感とは無縁のワインに。ヒノキのような香りと、熟成を感じる落ち着いた奥行きのある味わい。まだまだ長期熟成も可能ですので、保管用にも是非！

以上、赤だけでも色んな種類があるので、なんだか難しいように感じがちなトリンケーロのワインですが、飲んでみると案外親しみやすく、それでいてスケール感も大きい、大きく包み込んでくれるようなワイン達です。しっかり熟成したもののみをリリースし、納得のできないワインはボトリングせず名もなきお酢になる、、、エツィオがその覚悟と情熱を注いでリリースしたトリンケーロのワイン、是非この機会にお試しください！



＼スタッフの推し トリンケーロ来日CP(佐藤ver2)！！／
2025年11月13日(木)～1月30日(金)出荷分迄

キャンペーン詳細はこちらから↓



●ECサイト 飲食店様専用カタログID

ID:catalog

PW:vinolento